

## 事業報告書

事業実施期間 2018年4月1日～2019年3月31日

児童養護施設ハウスオブジョイ

### 1. 事業の総括

20人の親と暮らせないこどもたちを育てる他、協働する小学校に特別支援学級開設し、15人のこどもたちがそこで勉強できるようになりました。

### 2. 事業の実施状況

こどもたちを育てる活動については、地元行政の福祉局の要請に基づき、20人のこどもたちを施設内引き取って1年間生活しました。全員が学校に通い、学年を修了し、進級することができました。親と暮らせることになり、3人のこどもたちが巣立っていきましたが、すぐに新しく3人のこどもたちを迎え入れたので、全体の人数は変わっていません。生まれつき顔に小さな腫瘍があった子がいたのですが、日本のキリスト教教会の信者さんたちの支援および、アメリカのNPOの医療プロジェクトのおかげで無事に手術も成功し、元気に学校に通っています。

助成を申請した特別支援学級の開設については、予定通りに教室の建設を終え、専門家を招いてこどもたちに調査を行い、15人のこどもが特別支援が必要との結果が出たため、学習支援計画を学校の先生たちと一緒に作成し、教育省の許可を得て毎日1時間の取り出し授業を行えるようになりました。

### 3. 事業の成果

施設内の20人については、順調に心身ともに育っています。1人がサッカー大会で大活躍したことをうけて、今年からサッカー部に入りたい子が増えたので、今年はどうなるか楽しみです。

特別支援学級については、15人のうち、小学校6年生だった5人が、無事に小学校を卒業することができました。また、1人がこれ以上特別支援は必要ないと判断され、一般教室にもどれることになりました。残りの9人のうち1人は転校してしまいましたが、8人は今年度も学校にやってきて、また楽しく特別支援学級に通っています。校長先生や担当の先生の話では、学習障害を抱えた子は1年以内に学校をやめてしまうことが多いので、これは大きな成果だ、と言っています。この調子でこの特別支援学級の維持、発展に協力していきたいと思います。